

【2022年度 FD・SD委員会 事業報告】

委員長校 : 神戸学院大学

副委員長校: 兵庫大学、神戸薬科大学

委員校: 芦屋大学、関西国際大学、関西学院大学、聖和短期大学、甲南大学、神戸海星女子学院大学、神戸市看護大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、神戸親和女子大学、神戸大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫医科大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、兵庫大学短期大学部
計25校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「3. 県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題⑥】大学教職員の研修機会の提供と交流の促進

教職員の資質を向上させることを目的とした研修の機会を継続的に提供する。県下の大学等高等教育機関の関係者に研修交流機会を提供することにより、相互の立場で具体的な施策に結びつく議論が行われる、闊達な意見交換の場を創出する。

上記の体制の構築並びに、必要な取り組みは本委員会にて実施する。

<内容>取組課題⑥に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. 加盟校間でのFD・SDセミナーの公開

加盟校が自学で開講している多様な研修プログラムを加盟校に開放することにより、加盟校教職員に多様な研修・交流の機会を提供する。教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

・「大学運営」に関する科目の受講支援等

2. FD・SD情報交換会、セミナー等の開催

加盟校に有益な公開セミナーを実施することで、教職員の資質向上を図るとともに教職員間のさらなる交流を促進する。

・FD・SDトップセミナー等

上記の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5カ年において段階的に取り組む。

期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

<期待される効果>

大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校教職員の資質向上に寄与し、加盟校の担当者間の情報交換・交流や加盟校間での人材交流を促進する場が提供できる。

課題⑥ 大学教職員の研修機会の提供と交流の促進		予算額
取組1	加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開	0円
取組2	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催	500,000円

【2022年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組1-1)】

【⑥取組1】達成目標	各年セミナー5件以上
【⑥取組1】活動指標	参加者数100人以上／年

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
達成目標 【⑥取組1-1】	大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学びと交流の場を提供する。
課題を解決する 取組概要 【⑥取組1-1】	加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 1. 加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開
活動指標 【⑥取組1-1】	公開セミナー開催数:5件以上／年

内容 (結果)	<p>「加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開」について、以下の通り計画・実施した。</p> <p>1. 加盟校のFD・SDセミナーの情報を収集、コンソホームページ上で提供した。 (1)本仕組みを活発に運用していくため、半年に1回程度、委員校への協力依頼を行った。 また、加盟校からの公開依頼がある場合は、随時、対応を行った。 (2)加盟校からの情報提供方法に、Webフォームを取り入れ、情報提供の方法を簡便化することで、更なる利用促進を図った。</p> <p>2. 委員会・各セミナー等において適宜、本事業について理解と協力を求めた。</p> <p>【結果】2022年3月15日現在、6校13件の情報提供があった。 学校名・開催日・テーマ・参加者数(報告分)の詳細は以下の通り(学校名・50音順)</p> <p>■大手前大学(1件) ・2022年9月29日「大学におけるジェンダー平等 –アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)の解消に向けて–」計158名(学内)</p> <p>■関西学院大学(1件) ・2022年9月7日「大学の授業と著作権・個人情報保護」計166名 (学内31名、加盟校6校7名、他大学80校124名、関係機関4名)</p> <p>■神戸学院大学(7件) ・2022年6月17日「ポーアイ4大学合同FDセミナー コロナ禍における授業のハイブリッド化がもたらしたもの –この経験をコロナ後の授業にどう活かすか–」計51名(学内28名、加盟校12校22名、他大学1校1名) ・2022年9月2日「神戸学院大学全学教育推進機構主催 FDワークショップ 教育活動の振り返りからの気づきを明日に活かす」計23名(学内17名、加盟校2校5名、他大学1校1名) ・2022年9月26日「神戸学院大学薬学研究所主催 第3回知の創造セミナー」計40名(学内39名、他大学1校1名) ・2022年10月27日「神戸学院大学全学教育推進機構主催 データサイエンス教育FDセミナー」計50名 (学内44名、加盟校5校6名) ・2022年11月4日「神戸学院大学 全学教育推進機構主催 FDセミナー『学生の主体的な学びを促すための工夫』」計39名 (学内31名、加盟校5校7名、他大学1校1名) ・2023年1月23日「神戸学院大学薬学部 第4回 知の創造セミナー」計29名(学内27名、加盟校1校1名、他大学1校1名) ・2023年2月13日「神戸学院大学全学教育推進機構主催FDセミナー『ポストコロナのアクティブラーニング』」計52名 (学内44名、加盟校6校6名、他2名)</p> <p>■神戸常盤大学(1件) ・2023年3月18日「Well-beingな社会実現に向けて ~医療職・教育職が担うべきもの~」計117名(学内93名、その他24)</p> <p>■神戸薬科大学(1件) ・2022年7月19日「神戸薬科大学 FD講演会」計87名(学内)</p> <p>■兵庫大学(2件) ・2022年11月2日「第2回兵庫大学 教職員FD・SD研修会(オンライン)」計151名(学内139名、加盟校8校12名) ・2022年11月17日「兵庫大学 全国高等教育研究所等協議会創立14周年記念シンポジウム 「私立大学の現在と未来を考える」」計52名(学内14名、加盟校4校8名、他30名)</p> <p>3. 年1回、FD・SDセミナーの実施内容に関するアンケートを実施。 加盟校のニーズに合うセミナーの公開と、参画校の拡充に向けて、2023年3月にアンケートを実施。</p>
------------	--

新しい試み等 (事業計画に記載)	<p>「加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開」について、以下の通り計画・実施した。</p> <p>1. 加盟校のFD・SDセミナーの情報を収集、コンソホームページ上で提供した。 (1) 本仕組みを活発に運用していくため、半年に1回程度、委員校への協力依頼を行った。 また、加盟校からの公開依頼がある場合は、随時、対応を行った。 (2) 加盟校からの情報提供方法に、Webフォームを取り入れ、情報提供の方法を簡便化することで、更なる利用促進を図った。</p> <p>2. 委員会・各セミナー等において適宜、本事業について理解と協力を求めた。</p>
---------------------	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	0	0	0	

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	3
	<p>情報提供フォームを改正し、手続きの簡便化を図る試みが良かったこともあり、約半年間で活動指標である公開セミナー開催数年5件以上は達成した。しかし、活動目標「大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学びと交流の場を提供すること」の成果として、期待した参加加盟校の増加や偏りの解消は道半ばである。今後も継続的に参加校への呼びかけを行い、広く本プラットフォームを活用していきたい。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	<p>約半年間で活動指標である公開セミナー開催数年5件以上は達成されている。しかしながら、活動目標「大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学びと交流の場を提供すること」の成果として、当初期待されていた参加加盟校の増加や偏りの解消は道半ばであるので、今後も継続的に参加校への呼びかけを行い、広く本プラットフォームを活用していただきたい。</p>
--------------------------------	---

【2022年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組1-2)】

【⑥取組1】達成目標	各年セミナー5件以上 □
【⑥取組1】活動指標	参加者数100人以上／年

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進			
達成目標 【⑥取組1-2】	加盟校から4大学以上・10名以上が受講			
課題を解決する 取組概要 【⑥取組1-2】	加盟校間でのFD・SDセミナーの公開 2. 「大学運営」に関する科目の受講支援			
活動指標 【⑥取組1-2】	大学教職員の受講動機を高めるための周知活動をおこなう			
内容 (結果)	<p>1. 「大学運営」科目概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科目名称: 大学運営 ・開講日程: 2022年度第3クォーター土曜日の13:00～16:00 ・開講場所: 関西学院大学大阪梅田キャンパス(アプローズタワー14階) ・シラバス: 別紙 <p>2. 取組内容</p> <p>周知活動として以下を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大学コンソーシアムひょうご神戸事務局を通じて各大学に受講のご案内を送付 ②関西学院大学経営戦略研究科のwebサイトにてプログラムの周知、受講のご案内 <p>(ご参考)</p> <p>加盟校4校8名が受講</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)	特になし			
事業収支	収入 0	支出 0	収支 0	備考

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	加盟校からの受講生がおり、多様な研修・交流の機会を提供できていると考える。来年度の開講に向けても引き続き加盟校への広報を行っていきたい。			

■自己評価基準
(対到達目標)

4: 当初計画を上回って達成
3: 当初計画を達成
2: 当初計画をやや下回った
1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4: 本プログラムは継続すべき
3: 本プログラムは継続しても良い
2: 本プログラムの継続には改善が必要
1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	約半年間で活動指標である公開セミナー開催数年5件以上は達成されている。しかしながら、活動目標「大学間で研修プログラムを共有することで、多様な教職員の学びと交流の場を提供すること」の成果として、当初期待されていた参加加盟校の増加や偏りの解消は道半ばであるので、今後も継続的に参加校への呼びかけを行い、広く本プラットフォームを活用していただきたい。
--------------------------------	--

【2022年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組2-1)】

【⑥取組2】達成目標	各年参加者数50名以上
【⑥取組2】活動指標	開催数:3回以上/年

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進
達成目標【⑥取組2-1】	大学教育が直面している喫緊の課題に関する情報を共有することにより、高等教育改革推進に関する教職員の意欲を高める。
課題を解決する取組概要【⑥取組2-1】	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催 1. 加盟校教職員を対象とした大学教育等に関する講演会等の開催(FD・SDトップセミナー)
活動指標【⑥取組2-1】	開催数:1回以上/年

内容 (結果)	<p>〈FD・SDトップセミナー〉 テーマ:「GIGAスクール構想がもたらす大学教育への影響 -次代の学生像を考える-」 初等中等教育のコロナ禍におけるオンライン授業実施で「GIGAスクール構想」が3年前倒しになった。タブレットをはじめとしたICT活用など、授業方法や学習形態の変化は今後の高等教育にも大きな影響を及ぼすと考えられる。 ①総論: 高等教育のあり方、とりわけ大学におけるICTを利活用した教育の推進などについて、中央教育審議会等の関係者から講義いただく。 ②各論: 兵庫県内のICT活用等の実践を初等中等教育現場の関係者から講義いただく。 ③総括: 次代の学生像について 同セミナーを実施することにより、兵庫県全体の高等教育の改革に資する情報共有の場を創出するとともに、大学幹部および教職員の資質・能力の向上を図る。</p> <p>第一部 「これからの高等教育のあり方」 講師: 村田 治 氏 (関西学院大学長、文部科学省中央教育審議会委員) 第二部 「初等中等教育における情報教育・ICT活用教育の現状と未来」 講師: 森山 潤 氏 (兵庫教育大学学校教育研究科教授、兵庫県版プログラミング教育スタートパック構築事業協議会委員長)</p> <p>参加者合計113名 内加盟校 19校67名(大手前大学1、大手前短期大学1、関西国際大学2、関西学院大学12、甲南大学1、神戸大学2、神戸学院大学14、神戸市外国語大学3、神戸松蔭女子学院大学2、神戸常盤大学3、神戸親和女子大学2、神戸薬科大学1、園田学園女子大学1、姫路大学1、兵庫大学短期大学部1、兵庫教育大学4、兵庫大学14、兵庫県立大学1、流通科学大学1)、その他大学等36名、企業・団体5名、コンソ事務局5名</p>
------------	--

新しい試み等 (事業計画に記載)	<p>新しい取り組みなどを記載 ・高等教育のみならず、初等中等教育との接続を俯瞰する視点から、中期的に計画立案等が必要な喫緊の課題をテーマとして設定する。 ・専用ポスター等を作成し、より多くの大学の参加を促進する</p>								
事業収支	<table border="1"> <tr> <th>収入</th> <th>支出</th> <th>収支</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>500,000</td> <td>351,426</td> <td>148,574</td> <td>取組2-1、2-2 の合計</td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	500,000	351,426	148,574	取組2-1、2-2 の合計
収入	支出	収支	備考						
500,000	351,426	148,574	取組2-1、2-2 の合計						

自己評価	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p>テーマ:「GIGAスクール構想がもたらす大学教育 -次代の学生像を考える-」 各論として兵庫県版プログラミング教育スタートパック構築事業協議会委員長・兵庫教育大学教授 森山潤氏から実際に兵庫県初等教育で実施している事例を講義いただき、総論を今後の高等教育のあり方とし、中央教育審議会委員・関西学院大学学長 村田治氏から日本の大学教育の変化・方向性などを講義いただいた。初等教育から高等教育まで、授業方法や学習形態を中心とした教育変化に直面するなか、当セミナーを実施したことで、今後の教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つことができた。また、加盟校の教職員の資質向上を図るとともに、教職員間のさらなる交流を促進できた。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	FD・SDトップセミナーについては、今後の教育課題を明確化し、教育改革のための新しい視点を持つことができると共に、加盟校の教職員の資質向上を図るとともに、教職員間のさらなる交流を促進できたことから、来年度も引き続き取り組んでいただきたい。
----------------------------	---

【2022年度 FD・SD委員会 事業報告(⑥取組2-2)】

【⑥取組2】達成目標	各年参加者数50名以上
【⑥取組2】活動指標	開催数:3回以上/年

課題⑥	大学教職員の研修機会の提供と交流の促進			
達成目標 【⑥取組2-2】	事業終了時、受講者アンケート調査において、「自学の内部質保証活動にとって有益であった」との回答が平均70%以上であることを目指す。			
課題を解決する 取組概要 【⑥取組2-2】	FD・SD情報交換会、セミナー等の開催 2. 「内部質保証システム」構築に向けた取り組みの推進			
活動指標 【⑥取組2-2】	セミナー・勉強会開催数:2回以上/年			
内容 (結果)	<p>「内部質保証システム」をテーマとしたFD・SDセミナーを開催し、加盟校での啓発活動を行うと共に、実務的な勉強会を活動指標の通り、2回実施した。</p> <p>基本的な活動内容 1) 「内部質保証システム」をテーマとしたセミナーや勉強会の開催 (例えば、IRや認証評価に関するもの)</p> <p>【1件目】 ・セミナー内容: 「内部質保証システム」に関するセミナー —今こそ、基本的な考え方に立ち返り、実質化を考えたい! ・講師: 神戸大学 戦略企画室 准教授 高田 英一 氏 ・開講日時: 2022年12月23日(金)14:00~16:00 ・開催方法: Zoomオンライン ・参加状況: 35名(内訳:加盟校15校33名:芦屋大学1、大手前大学1、関西国際大学1、関西学院大学5、神戸大学1、神戸学院大学3(内・運営1)、神戸松蔭女子学院大学4、神戸親和女子大学2、神戸常盤大学1、頌栄短期大学1、園田学園女子大学1、姫路獨協大学1、兵庫大学3、兵庫教育大学3、兵庫県立大学5、コンソ事務局2) ・受講生31名(講師・スタッフ除く)のうちアンケート回答者は16名(アンケート回収率52%)。その内、「よかった」(12名/75%)の回答があった。 オンラインでのアンケート回収に工夫が必要であるが、「認証評価の受審準備の参考になった」「内部質保証の基本に立ち返って考えることができた」「意見交換会で各大学の課題を聞いて理解が進んだ」等の「自学の内部質保証活動にとって有益であった」ことがわかるコメントが多数あった。</p> <p>【2件目】 ・セミナー内容: 内部質保証セミナー —教学データ活用実習 ・講師: 学校法人上智学院 IR推進室 室長 相生 芳晴 氏 ・開講日時: 2023年2月24日(金)14:00~17:00 ・開催場所: 神戸学院大学神戸三宮サテライト(ミント神戸17階) ・参加状況: 19名(内訳:加盟校9校16名:大手前大学2、関西学院大学1、甲南大学3、神戸学院大学1、神戸松蔭女子学院大学2、神戸常盤大学1、園田学園女子大学2、姫路獨協大学1、兵庫県立大学3、加盟校以外<講師>:上智学院1、コンソ事務局2) ・受講生15名(講師・スタッフ除く)のうちアンケート回答者は13名(アンケート回収率87%)。対面開催のため、回収率は高かった。その内、「よかった」(13名/100%)の回答があった。 「実務にすぐ活かせる内容だった」「データ活用実例が非常に具体的でわかりやすかった」等の「自学の内部質保証活動にとって有益であった」ことがわかるコメントが多数あった。</p>			
新しい試み等 (事業計画に記載)				
事業収支	収入	支出	収支	備考
	500,000	351,426	148,574	取組2-1、2-2 の合計

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	両日とも、多くの高等教育機関の教職員方々にご参加いただいた。とりわけ、2月24日開催のセミナーは、コロナ禍以降、初めての対面形式でのハンズオンセミナーであったが、受講者定員15名が満席となった。参加された方のご意見や感想から、各校とも、内部質保証の実質化やその方法の確立については、暗中模索であることが明らかとなっている。本計画のテーマは、引き続き需要が見込まれるため、次年度以降も継続した実施が望まれる。			

■自己評価基準
(対到達目標)

4:当初計画を上回って達成
3:当初計画を達成
2:当初計画をやや下回った
1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

4:本プログラムは継続すべき
3:本プログラムは継続しても良い
2:本プログラムの継続には改善が必要
1:本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	「内部質保証システム」構築に向けた取り組みの推進については、事務局から事前に加盟校へ参加可否を確認したところ、7校20名の方が参加可能とのことであり、引き続き一定の需要が見込まれることから、次年度以降も継続して実施していただきたい。
--------------------------------	--

【2022年度 FD・SD委員会 事業決算】

(単位:円)

	予算	決算案	取組1			取組2			委員会 予算・決算案			
			加盟校が実施するFD・SDセミナーの公開			FD・SD情報交換会、セミナー等の開催						
			内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	
収入	会費収入	600,000	600,000		0			500,000	500,000		100,000	100,000
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	600,000	600,000		0	0		500,000	500,000		100,000	100,000
支出	会議費	110,000	1,304				懇親会	100,000	0	会議費	10,000	1,304
	旅費交通費	90,000	43,096				講師交通費	80,000	42,656	旅費交通費	10,000	440
	通信運搬費	30,000	0							通信運搬費	30,000	0
	消耗品費	10,000	25,769							消耗品費	10,000	25,769
	新聞図書費	0	0									
	印刷製本費	0	0									
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	260,000	0				会場費	220,000	0	賃借料	40,000	0
	保険料	0	0									
	謝金	100,000	114,400				講師謝金	100,000	114,400			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	0	1,870				振込手数料	0	1,870			
	諸会費	0	0									
	委託費	0	192,500				HP改修費	0	192,500			
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
雑費	0	0										
計	600,000	378,939		0	0		500,000	351,426		100,000	27,513	

収入－支出	221,061
-------	---------